



秀吉から

政宗へ。

天正 18 年 (1590) 奥州へ向かう豊臣秀吉から、伊達政宗が拝領した兜。  
[重要文化財] 黒熊毛推形兜 / 桃山時代 / 仙台市博物館蔵

# 戦国武将と異形兜



黒田如水のトレードマークの兜。赤い腕を逆さにした兜はまさに異形！  
銀白檀塗合子形兜 / 桃山時代 / もりおか歴史文化館蔵

如水の赤合子とはコレだ！



細川幽斎、三斎の腰物。

[重要文化財] 金庄出亀甲髹文腰刀拵 / 桃山時代 / 個人蔵

塗り見本がそのまま鞘に！



印籠刻変塗鞘脇差拵 / 江戸時代 / 個人蔵

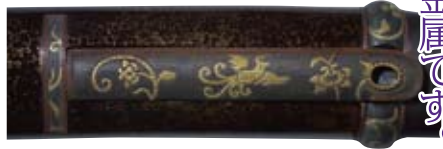


金属で漆工技法を模した金具。山椒園縁 / 大森英秀作 / 個人蔵



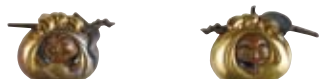
金属地に漆工技法で文様を表している。春秋草花図蒔絵縁 / 無銘 / 個人蔵

漆？ 金属？



金梨子地輪合口拵 / 大月光興作竹屋町製意匠総金具付 (部分図) / 江戸時代後期 / 個人蔵

織物？革？いいえ、金属です。



金属のゆりかごにつつまれて。



布袋さんの寝顔に癒される。刀装金工の名手・横谷宗琨の代表作。  
[重要文化財] 睡布袋図二所物 / 銘 宗琨 (花押) / 江戸時代中期 / 個人蔵



絶妙のバランス、黒田長政の大水牛。

[重要文化財] 黒漆塗桃形大水牛籠立兜 / 桃山時代 / 福岡市博物館蔵 / 写真：藤本健八氏撮影



頭から尾まで、雉子尽くし。

南部家筆頭の重宝。  
[岩手県指定有形文化財] 雉子尾雉雄御大刀拵 / 江戸時代初期 / もりおか歴史文化館蔵

ユニークな造形でひと目を惹く兜—いわゆる“変わり兜”と、贅を尽くした細密工芸である刀装具。これらはサムライ・アートとして海外でも特に人気があります。今回の展覧会では、戦に臨んだ武将達の緊張感から紡ぎ出された究極の変わり兜、泰平の世に開花したデザイン性の強い変わり兜、極小の金属に壮大な世界を繰り広げる多彩なデザインの刀装具、そして考古学の大家であった故・末永雅雄氏が収集した刀装具コレクション (初公開作品) など約 250 点の作品を通じ、変わり兜と刀装具が持つ、それぞれの造形美をご紹介します。

# 鉄の造形 華麗な鞘塗 多彩な彫金



金属なのに柔らかい。



1~2cm大とは思えない極小の表現。近江商人中井家の旧蔵品。蝶々目貫 (篠山篤興作「牡丹蝶園楡金具」のうち) / 江戸時代後期 / 個人蔵



鉄錆地栄螺形兜 / 江戸時代 / 個人蔵

金具も鞘塗も、すごい。



金具は蛙・蛇・ナメクジで3すくみを表す。蛇の周囲は茶漆で革風に塗り、蛙の周囲は黒漆で笹を薄く表す。黒腰茶革塗脇指拵 / 江戸時代後期 / 個人蔵



猪図目貫 短冊銘 政随 / 江戸時代中期 / 個人蔵

正面勝負だ！

江戸時代のカブリモノ。



形は兜なのに、刀装具なんです。

兜形変わり頭 / 無銘 / 江戸時代 / 個人蔵



鬼女と釣鐘といえは...

梵鐘形兜 道成寺意匠前立付 / 江戸時代 / 個人蔵



板屋具形兜 / 江戸時代 / 土佐山内家宝物資料館蔵



銀溜塗釘抜形兜 / 江戸時代 / 個人蔵



関西の名コレクター・光村龍獅堂の旧蔵品。岩牡丹図鐔 / 銘 後藤法橋一乗 (花押) / 江戸時代後期 / 個人蔵



入道の頭部が兜。面頬と組合わせたらすっかり変装！肉色塗入道頭形兜 / 江戸時代 / 個人蔵

山内家四代豊昌所用。

# 戦国の世の刀装具

半世紀ぶりの再会...

これぞ桃山芸術！



本阿弥光悦の影響下で“にじみ”を金属で表現した名鐔。展覧会出品は実に半世紀ぶり！  
[重要美術品] 葡萄文鐔 / 銘 理忠明寿 / 桃山時代 / 個人蔵



小林秀雄の随筆「鐔」に引用された信家の鐔。大学入試センター試験で目にした学生も多いはず。運有天文字図鐔 / 銘 信家 / 桃山時代 / 個人蔵

小林秀雄を唸らせた鐔



兎の耳...

藤堂采女が大坂夏の陣で着用した具足として藤堂家に長く伝わった。  
[名張市指定文化財] 素懸威二枚胴朱具足 / 江戸時代初期 / 名張市蔵



南部利直へ

蒲生氏郷から

[岩手県指定有形文化財] 黒漆塗燕尾形兜 / 桃山時代 / 岩手県立博物館所蔵



京都所司代・板倉勝重の召領。  
[岡山県指定重要文化財] 日の丸金箔押細糸威二枚胴具足 / 桃山時代 / 高梁市歴史美術館蔵

# 桃山から江戸へ



井伊家二代・井伊直孝所用の兜  
[彦根市指定文化財] 朱漆塗頭形天衝籠立兜・朱漆塗半額 / 江戸時代初期 / 彦根城博物館蔵